

のびのびトロピカルフェスタ 大盛況!

毎年恒例の「夏まつり」を、今年は「南国ふうにしてみたら・・・?」という職員の発案で、趣向を変えて、装飾から衣装まで“トロピカル”なおまつりになりました。

大好評の「お父さんバンド」は、南国風の衣装に身を包んで登場。今年はさらに“カホーン”(ペルー発祥の打楽器。箱型でその上に跨(またが)って演奏することができる。)が加わり、演奏に一層の趣を添えました。もちろん、今か今かと出番を待ち構えていた子どもたち。泣いたり笑ったり、微笑ましいステージとなりました。さらに、保護者会役員会からのサプライズ「サンクス抽選会」は、皆さんの暖かい気持ちに溢れた企画でした。猛暑の中での開催でしたが、保護者の皆さんのご協力で、子どもも大人も十分楽しめたフェスタとなりました。



お父さんバンド



賑やかな会場の様子

あの時・あの人

「ニュースを見て懐かしくて!」と、わかばにうれしいお客様が来園!上倉田の山の上、無認可保育所だった頃、Kちゃんをおんぶしてわかばに通ったYさんご夫婦が、はるばる山梨から子どもたちにご自分の葡萄園で作ったぶどうをどっさり積んで来てくれました。40数年ぶりです。

バザーで資金を作りながらの運営はいつも大変だったけど、「楽しかった!」と話に花が咲きました。

小さい頃の赤いほっぺのKちゃんが目に浮かび、心が温くなりました。

子どもたち(おとなも)はおいしいおやつに舌鼓を打って“ごちそうさま!”でした。



彼岸花(曼珠沙華)



写真は舞岡八幡にて撮影。

お彼岸の頃、水田のあぜ道などに赤い花を咲かせて群生する姿を目にします。全草に毒がありますが、水にさらして毒を抜き救荒食にもなります。

稲作の伝来時に中国大陸から持ち込まれたとされています。

花言葉は「情熱」「独立」「再会」「あきらめ」「転生」。

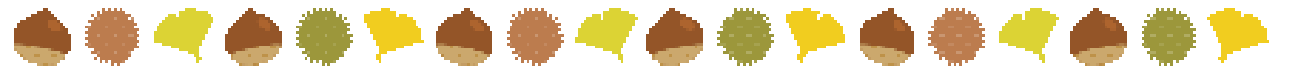
別名、異名が多く、千以上のものが知られているそうです。

野原 遊



社会福祉法人あらくさ会/わかば保育園・新杉田のびのび保育園・笹下保育園
〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町992番地 Tel/Fax 045-443-5564
あらくさ会ホームページ <http://www.aragusakai.sakura.ne.jp/>

2018年10月号



「新」保育所保育指針とは? その内容を考える

昨年3月31日に告示された「新」保育所保育指針は、今年の4月1日から、運用が開始されました。告示から運用までの1年間は、内容についての意見募集や周知期間としていましたが、実際には、意見募集に寄せられた疑問や意見には一切触れず、そのまま変更なしで「解説書」が今年5月に出され、その後の行政からの説明も解説書をそのまま話すだけの説明でした。

しかし、自治体が行う「行政監査」では、「趣旨が十分反映されるよう、①保育指針において、具体的に義務や努力義務が課せられている事項を中心に実施すること。②(中略)各保育所の創意工夫や取り組みを尊重しつつ、結果のみでなく取り組みの過程、保育指針が示す計画の作成(plan)、計画の展開(do)、評価(check)と改善(action)に着目して実施する。」と厚労省から通知が出されています。これは、企業が行う、生産管理や品質管理などの管理業務を円滑に進める手法で、PDCAサイクルと呼ばれているやり方を、保育現場にそのまま持ち込んでいます。

そのうえ、小学校就学時の具体的な姿として「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿10項目」を挙げています。その姿は、大人でさえできないようなことを6歳の子どもたちに求めています!子どもたちを製品の品質を管理するシステムに乗せ、幼児期の終わりまでに育ってほしい(と考えている人たちの)品質に到達しなければ、不良品とするのでしょうか!とんでもないことです。子どもたちは製品ではありません。人間に「不良品」などはありません。解説書では、「この姿はゴールではない」としていますが、PDCAシステムによって作りあげられる子どもたち、この姿を求める真の意図こそ私たちが注意しなければならないものです。

10の姿をここで述べるだけの紙面がないので、次の機会としますが、ぜひ「保育指針・幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を検索してみてください。

社会福祉法人あらくさ会 理事長 辻村久江

